

企業で活躍するアビリティ訓練「ビル管理科」修了生の声

【中村 省吾 さん(平成22年9月修了生)】



●現在担当している仕事内容は？

ビル設備管理を総合的にサポートする会社に就職し、様々な業務を経験しています。別な言い方をすれば、会社が何でも経験させているということでしょうか。主に高圧受電設備の保守、定期点検、機械警備管制センター勤務、空調機フィルター交換等保守、上水道水質検査等環境測定、消防設備点検業務など範囲の広い業務内容となっています。

●広島センターで訓練を受講している時考えていたやりたい仕事

センター入所当初は、以前就業していた職務にとらわれ未練があり、そちらの方面での求職活動を行っていました。もちろん求職がうまくいかないこともありましたが、年齢を考えると「ビル管理」という仕事に新しい道を求めたいと思い、日々の勉学を真剣に行いました。特にセンター訓練中、約半年の間に6回の資格試験を受験し、後個人的に3回の資格試験を受けました。訓練を終え帰宅した後、自宅で毎日約2時間勉強する過酷なスケジュールが続きましたが、ビル管理科の先生方のアドバイスや励まし、また教え方により、新しい分野の学習にもスムーズに入って行けました。訓練中、訓練修了後、受験した全ての試験も無事合格し、幸運にも太平ビルサービス(株)に技術社員として入社し、今日に至っています。

●入社当初はどのようなことをしていましたか？

まだ入社して4カ月が経過しただけですので、これからの業務の概略を知る意味でも先輩について現場へ同行し、仕事の段取り、工程管理、就業場所を憶えることから始まりました。しだいに受電設備の定期点検の内容や点検基準、工数管理、計器の扱い方等を見様見真似で憶えました。

また、勤務形態によって仕事内容が様々(ボイラー、空調、電気、消防)なので、「急きょ欠員があった場合に備え、代役ができるように」と指示があり、自分から現場に巡回し、計画的に学ぶようにしました。最近、応援要請もあり大阪に出張し、他の支店の先輩の方々と共に仕事をしたことは大きなメリットとなりました。

●後輩訓練生へのアドバイス

ビル設備管理技術は多方面に渡り、全ての分野を実際に経験し熟知することは稀かもしれませんが、「広く浅く」技術情報や知識を得ることが必要だと実感しました。大切なのは、やはり基礎的な知識とそれを使用する知恵にあると思います。それで訓練中に学ぶ事柄は、全て実際に必要となる内容、資格だと考え、集中して学ぶことをお勧めしたいと思います。資格試験に合格することだけにとらわれず、得た知識や技能をしっかり身につけておくことが肝要だと感じました。さらには上位の資格試験に挑戦することは、自分自身の向上心を絶えず保つことに十分効果がありますし、技術向上の裏づけとなるのは確実ですので、決して諦めず、何年かかっても取得するという意味でもぜひ頑張ってください。